



## 2025年4月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年12月11日

上場会社名 株式会社gumi 上場取引所 東  
コード番号 3903 URL <https://gu3.co.jp/>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 川本 寛之  
問合せ先責任者（役職名） 取締役（氏名） 本吉 誠（TEL）03-5358-5322（代表）  
半期報告書提出予定日 2024年12月11日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

## 1. 2025年4月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年5月1日～2024年10月31日）

## (1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年4月期中間期	5,494	△6.1	179	—	990	—	599	—
2024年4月期中間期	5,848	△29.6	△1,971	—	△2,127	—	△1,430	—

(注) 包括利益 2025年4月期中間期 554百万円(—%) 2024年4月期中間期 △1,239百万円(—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年4月期中間期	13.21	13.12
2024年4月期中間期	△36.19	—

(注) 1. 2024年4月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在するものの1株当たり中間純損失のため、記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年4月期中間期	22,711	15,956	68.4
2024年4月期	19,332	12,242	61.8

(参考) 自己資本 2025年4月期中間期 15,525百万円 2024年4月期 11,947百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年4月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年4月期		0.00			
2025年4月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2025年4月期の配当金につきましては、現在未定であります。

## 3. 2025年4月期の連結業績予想（2024年5月1日～2025年4月30日）

当社グループを取り巻く事業環境は短期的な変化が激しいことから、当社グループの業績の見通しについては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、業績予想の開示をしておりません。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年4月期中間期	49,491,234株	2024年4月期	39,581,734株
② 期末自己株式数	2025年4月期中間期	一株	2024年4月期	一株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年4月期中間期	45,400,696株	2024年4月期中間期	39,527,446株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があり、当社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
(中間連結損益計算書) .....	6
(中間連結包括利益計算書) .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(会計方針の変更) .....	11
(セグメント情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間の売上高は5,494,123千円(前年同期比6.1%減)、営業利益は179,831千円(前年同期は1,971,530千円の営業損失)、経常利益は990,465千円(前年同期は2,127,053千円の経常損失)、親会社株主に帰属する中間純利益は599,886千円(前年同期は1,430,303千円の親会社株主に帰属する中間純損失)となりました。

当中間連結会計期間のセグメントごとの状況は次のとおりであります。

#### (モバイルオンラインゲーム事業)

売上高に関しては、配信中の一部既存タイトルについて配信期間の経過により減収となったことに加え、不採算タイトルを早期に撤退したことにより売上が減少し、前年同期比で減収となりました。

営業利益に関しては、既存タイトルにおける継続的なコスト適正化の実施等により、外注費や広告費等が減少したことに伴い、前年同期比で増益となりました。

この結果、売上高は4,252,982千円(前年同期比23.7%減)、営業利益は36,804千円(前年同期は1,031,069千円の営業損失)となりました。

#### (ブロックチェーン等事業)

ブロックチェーン等事業に関しては、当該事業を取り巻く法令及び行政の対応等を踏まえつつ事業展開を行っており、ブロックチェーンゲームの配信やプラットフォームビジネスを中心としたエンターテインメント領域に加え、アセットマネジメント、投資を中心とした金融領域の2軸にて事業を推進しております。売上高に関しては、エンターテインメント領域においては、ブロックチェーン技術を活用した推し活プラットフォームプロジェクト「OSHI3」の第1弾プロジェクトである「ファントム オブ キル オルタナティブ・イミテーション」の売上高計上に加え、本プロジェクトの基軸となるトークン「OSHI」の受領に伴う売上高計上等に伴い、前年同期比で増収となりました。アセットマネジメント領域においても、ノード運営のポートフォリオ最適化により良質なトークンを保有し、安定収益を創出できたことに伴い、前年同期比で増収となりました。営業利益に関しては、売上高の増加に加え、開発中のタイトルの開発コストが減少したこと等に伴い、前年同期比で増益となりました。

この結果、売上高は1,241,140千円(前年同期比353.4%増)、営業利益は143,026千円(前年同期は940,460千円の営業損失)となりました。

なお、当社が共同開発を行うブロックチェーンゲーム「エルゴスム」にて利用できるトークン「FCT」の受領及びOSHIトークンの時価上昇に伴う評価益、並びに当社グループが保有するその他の暗号資産の評価損益等を勘案した結果、暗号資産評価益979,869千円(前年同期は55,392千円の暗号資産評価損)を計上しております。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の資産合計は22,711,734千円となり、前連結会計年度末比3,379,162千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金及び暗号資産の増加によるものであります。

負債合計は6,755,430千円となり、前連結会計年度末比334,520千円減少いたしました。これは主に、長期借入金の減少によるものであります。

純資産合計は15,956,303千円となり、前連結会計年度末比3,713,682千円増加いたしました。なお、自己資本比率は68.4%となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末4,778,622千円に比べ2,616,933千円増加し、7,395,556千円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は170,650千円(前年同期は2,091,631千円の支出)となりました。収入の主な内訳は、売上債権及び契約資産の減少額1,395,280千円、税金等調整前中間純利益744,521千円及び前払費用の減少額359,913千円、支出の主な内訳は、暗号資産評価益979,869千円及び暗号資産の増加額799,564千円であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は1,333,984千円(前年同期は452,728千円の支出)となりました。収入の主な内訳は、投資事業組合からの分配による収入209,009千円、支出の主な内訳は、無形固定資産の取得による支出753,052千円及びその他の関係会社有価証券の取得による支出460,792千円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は3,689,881千円(前年同期は987,361千円の獲得)となりました。収入の主な内訳は、株式の発行による収入2,915,743千円、短期借入金の純増加額1,000,000千円及び長期借入れによる収入1,000,000千円、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出1,178,436千円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、モバイルオンラインゲーム事業においては、他社IPタイトルを主軸に経営資源を投下していく方針です。オリジナルタイトルについては当面開発を行わず、当社ゲームエンジンとIPを組み合わせたタイトルの開発や開発受託への取り組みを更に強化する等、現在の市況を踏まえた最適なポートフォリオを構築することで、収益力の拡大を目指してまいります。

ブロックチェーン等事業においては、ブロックチェーンゲームの配信やプラットフォームビジネスを中心としたエンターテインメント領域に加え、アセットマネジメント及び投資を中心とした金融領域の2つの領域に積極的に経営資源を投下し、収益の主軸として成長させていく方針です。

エンターテインメント領域においては、「OSHI3」をはじめとした、ブロックチェーンサービスをシームレスに提供できるプラットフォームの構築に加え、モバイルオンラインゲームの開発で培った豊富な経験・ナレッジを活用した高品質なブロックチェーンゲームの配信により、収益の更なる成長を目指してまいります。

金融領域においては、アセットマネジメント事業では、既に安定収益を創出しているノード運営にて最適なポートフォリオ運用を継続しつつ、将来的には他社資本の組入れも含め運用資産の更なる拡大等を図ることで、収益力の更なる強化を図ってまいります。投資事業においては、既存ファンドからの継続的な投資回収を行いつつ、新規ファンドからの投資活動も積極的に実施することで、中長期的な投資収益の創出に向けた基盤を構築してまいります。

なお、モバイルオンラインゲーム事業及びブロックチェーン等事業を取り巻く事業環境の変化が激しく、適正かつ合理的な業績予想の算出が困難であることから、業績予想を非開示とさせていただきます。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年4月30日)	当中間連結会計期間 (2024年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,778,622	7,395,555
売掛金及び契約資産	2,183,320	783,257
暗号資産	2,635,062	4,381,849
その他	2,348,308	1,604,870
流動資産合計	11,945,314	14,165,533
固定資産		
有形固定資産	164,113	137,950
無形固定資産		
ソフトウェア	14,175	9,470
ソフトウェア仮勘定	486,021	1,238,455
その他	500	450
無形固定資産合計	500,696	1,248,375
投資その他の資産		
投資有価証券	2,754,074	2,460,273
その他の関係会社有価証券	3,062,511	3,614,937
その他	955,863	1,134,663
貸倒引当金	△49,999	△49,999
投資その他の資産合計	6,722,448	7,159,875
固定資産合計	7,387,258	8,546,201
資産合計	19,332,572	22,711,734

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年4月30日)	当中間連結会計期間 (2024年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	290,944	199,689
短期借入金	1,000,000	2,000,000
1年内償還予定の社債	480,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	1,506,124	1,711,450
未払法人税等	459,029	125,660
賞与引当金	46,502	40,432
その他	1,539,114	1,104,406
流動負債合計	5,321,715	5,681,638
固定負債		
社債	620,000	360,000
長期借入金	633,783	250,021
資産除去債務	90,290	87,253
その他	424,162	376,518
固定負債合計	1,768,235	1,073,792
負債合計	7,089,951	6,755,430
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,119,471	14,617,238
資本剰余金	323,727	1,821,840
利益剰余金	△3,158,534	△2,558,647
株主資本合計	10,284,663	13,880,431
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	174,308	140,247
為替換算調整勘定	1,488,494	1,504,985
その他の包括利益累計額合計	1,662,802	1,645,232
新株予約権	294,634	266,186
非支配株主持分	519	164,452
純資産合計	12,242,620	15,956,303
負債純資産合計	19,332,572	22,711,734

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年10月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年10月31日)
売上高	5,848,306	5,494,123
売上原価	5,996,401	4,408,063
売上総利益又は売上総損失(△)	△148,095	1,086,059
販売費及び一般管理費	1,823,435	906,228
営業利益又は営業損失(△)	△1,971,530	179,831
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,539	17,598
補助金収入	33	—
為替差益	—	23,664
暗号資産評価益	—	979,869
持分法による投資利益	52,557	52,540
その他	8,754	1,628
営業外収益合計	64,885	1,075,301
営業外費用		
支払利息	34,505	29,122
為替差損	49,062	—
株式交付費	—	60,416
寄付金	240	—
暗号資産評価損	55,392	—
暗号資産売却損	34,255	150,640
投資事業組合運用損	42,392	11,506
その他	4,560	12,981
営業外費用合計	220,408	264,666
経常利益又は経常損失(△)	△2,127,053	990,465
特別利益		
投資有価証券売却益	1,275,467	—
新株予約権戻入益	7,872	9,074
特別利益合計	1,283,339	9,074
特別損失		
減損損失	53,718	4,447
固定資産除却損	—	2,037
投資有価証券評価損	259,369	—
関係会社株式評価損	48,291	20,897
事業構造改革費用	22,617	227,635
関係会社清算損	12,109	—
特別損失合計	396,106	255,017
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△1,239,820	744,521
法人税、住民税及び事業税	215,679	17,956
法人税等調整額	75,800	154,897
法人税等合計	291,480	172,854
中間純利益又は中間純損失(△)	△1,531,300	571,667
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△100,996	△28,219
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△1,430,303	599,886

## (中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年10月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年10月31日)
中間純利益又は中間純損失 (△)	△1,531,300	571,667
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△240,664	△34,061
為替換算調整勘定	439,889	△195,071
持分法適用会社に対する持分相当額	92,496	211,562
その他の包括利益合計	291,721	△17,570
中間包括利益	△1,239,579	554,097
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△1,138,582	582,316
非支配株主に係る中間包括利益	△100,996	△28,219

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年10月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△1,239,820	744,521
減価償却費	438,638	31,743
減損損失	53,718	4,447
株式報酬費用	7,246	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△13,601	△5,883
受取利息及び受取配当金	△3,539	△17,598
支払利息	34,505	29,122
為替差損益(△は益)	158,148	△37,762
補助金収入	△33	—
持分法による投資損益(△は益)	△52,557	△52,540
寄付金	240	—
投資事業組合運用損益(△は益)	42,392	11,506
暗号資産評価損益(△は益)	55,392	△979,869
暗号資産売却損益(△は益)	34,255	150,640
新株予約権戻入益	△7,872	△9,074
関係会社株式評価損	48,291	20,897
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,275,467	—
投資有価証券評価損益(△は益)	259,369	—
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	41,304	1,395,280
仕入債務の増減額(△は減少)	△97,721	△91,206
株式交付費	—	60,416
未払金の増減額(△は減少)	95,067	△293,851
未払消費税等の増減額(△は減少)	△359,115	△11,314
未収入金の増減額(△は増加)	△237,835	116,411
前払費用の増減額(△は増加)	231,689	359,913
長期前払費用の増減額(△は増加)	△49,148	△89,291
未収消費税等の増減額(△は増加)	△21,850	166,247
暗号資産の増減額(△は増加)	△353,862	△799,564
その他	250,472	△148,648
小計	△1,961,692	554,543
利息及び配当金の受取額	5,475	17,598
利息の支払額	△33,270	△28,839
補助金の受取額	33	—
寄付金の支払額	△240	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△101,937	△372,651
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,091,631	170,650

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年10月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年10月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△33,608	△1,611
無形固定資産の取得による支出	△930,745	△753,052
投資有価証券の売却による収入	1,276,998	—
投資有価証券の取得による支出	△1,000,339	—
その他の関係会社有価証券の取得による支出	△449,250	△460,792
暗号資産の取得による支出	△544,825	△299,499
暗号資産の売却による収入	119,954	—
投資事業組合からの分配による収入	162,820	209,009
敷金及び保証金の差入による支出	△1,179	△444
敷金及び保証金の返還による収入	1,046	3,213
共同開発出資金の受入による収入	946,400	—
その他の支出	—	△30,805
投資活動によるキャッシュ・フロー	△452,728	△1,333,984

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年10月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年10月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,500,000	1,000,000
長期借入れによる収入	1,000,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△2,235,323	△1,178,436
社債の発行による収入	1,000,000	—
社債の償還による支出	△80,000	△240,000
株式の発行による収入	85	2,915,743
配当金の支払額	△197,400	—
非支配株主からの払込みによる収入	—	192,574
財務活動によるキャッシュ・フロー	987,361	3,689,881
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,713	90,386
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,561,712	2,616,933
現金及び現金同等物の期首残高	10,564,225	4,778,622
現金及び現金同等物の中間期末残高	9,002,512	7,395,556

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年6月26日開催の取締役会決議に基づき、SUPER STATE HOLDINGS株式会社との間で資本業務提携契約を締結しました。これにより2024年7月16日付でSUPER STATE HOLDINGS株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当中間連結会計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,488,068千円増加しております。

主にこれらの影響により、当中間連結会計期間末における資本金は14,617,238千円、資本剰余金は1,821,840千円となっております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

## (セグメント情報)

## I 前中間連結会計期間(自 2023年5月1日 至 2023年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報  
(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	モバイル オンラインゲーム 事業	ブロックチェーン等 事業	
売上高			
国内	4,761,946	200,276	4,962,222
海外	812,641	3,144	815,785
顧客との契約から生じる収益	5,574,587	203,420	5,778,008
その他の収益	—	70,298	70,298
外部顧客への売上高	5,574,587	273,719	5,848,306
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	5,574,587	273,719	5,848,306
セグメント損失(△)	△1,031,069	△940,460	△1,971,530

セグメント損失は、中間連結損益計算書の営業損失と一致しております。また、収益分解情報は「国内」及び「海外」に区分し、モバイルオンラインゲーム事業においては日本語版タイトルの売上高を「国内」、海外言語版タイトルの売上高を「海外」として記載しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

## (固定資産に係る重要な減損損失)

モバイルオンラインゲーム事業において、減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間においては53,718千円であります。

## II 当中間連結会計期間(自 2024年5月1日 至 2024年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報  
(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	モバイル オンラインゲーム 事業	ブロックチェーン等 事業	
売上高			
国内	3,591,673	548,999	4,140,673
海外	661,309	7,657	668,966
顧客との契約から生じる収益	4,252,982	556,656	4,809,639
その他の収益	—	684,483	684,483
外部顧客への売上高	4,252,982	1,241,140	5,494,123
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	4,252,982	1,241,140	5,494,123
セグメント利益	36,804	143,026	179,831

セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。また、収益分解情報は「国内」及び「海外」に区分し、モバイルオンラインゲーム事業においては日本語版タイトルの売上高を「国内」、海外言語版タイトルの売上高を「海外」として記載しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。